

腰痛が治る？

20 こしお じぞう
腰折れ地蔵

腰の痛みをはじめ諸々の願いごとにご利益があるとされる三つの石で成り立つお地蔵さん。辺りは、うっそうとした竹林と森に被われているため、静かな胎内に入っていきような幻想に促されます。腰痛の原因となった普段の生活もじっくり回想するにはやっぱりココでしょう。



今年こそ料理上達

21 かしま じんじゃ
鹿島神社、
膳夫神社跡

鹿島神社のご祭神は、稲佐の浜での国譲りの際、天照大神から遣わされた建御雷神(たけみかづちのかみ)。古事記では、国譲りを決意した大国主大神が、料理の神様「膳夫神(かしわでのかみ)」に命じて饗応なさいました…。この地は、日本で最初におもてなし料理が振る舞われたところといわれています。斐伊川河川敷公園には膳夫神社跡があります。



22 ほ もり じんじゃ
火守神社

ご祭神は、大国主大神が国譲りをした際、スズキを調理された櫛八玉神(くしやたまのみこと)。境内には太古からの息吹をそのまま感じる摂社があり、「包丁塚」も安置され、地元の出雲調理師会をはじめ県外からも、料理関係者の参拝があります。今年こそは、お刺身を完全マスター!



日の出に願いを込めるなら

23 く な こ じんじゃ
久奈子神社と
栗栖山城址

伊邪那美命(いざなみのみこと)を主祭神とする久奈子神社境内からは、神戸川下流域一帯の出雲平野、北山山地の眺望がすばらしく、清々しい気持ちになれるおすすめポイント。社殿のすぐ近くに、駐車場がありますが、道幅が狭いので、超スロー運転を。健脚の方は、神社より上に栗栖山城址入口の木標があり、山頂に向かう遊歩道で、日の出にトライ!



24 た ぶ し さん
旅伏山の
都武自神社

風の守護神とされる速都牟自和気命(つむじわけのみこと)が主祭神。中国自然遊歩道、旅伏山登山コースを約1時間登ると、山頂のすぐ手前で、拝殿が目に見えてきます。そこは、風土記の時代、煙火を上げ敵が攻めてくることを知らせた多夫志の峰(たぶしのとぶひ)があったところ。ぐるり360度のパノラマは圧巻。



安産祈願

25 み い じんじゃ
御井神社

因幡の国から大国主大神を尋ねて出雲にいられた八上姫は、この地で産気づかれ、お産のため三つの井戸(生井(いくい)、福井(さくい)、綱長井(つながい))を掘り、御子を産湯させてから木の俣に残し、因幡へ帰られたそうです。この神話がそのまま社名になっており、主祭神はこの時生まれた木俣神(このまたのかみ)と母神の八上姫神。ご利益も神話のままに安産、母子の発展などだそうです。



26 あ こ じんじゃ
安子神社

安産と子授けにご利益があるといわれる木華咲耶姫命(このはなさくやひめのみこと)などをご祭神とする神社。毎年4月8日の例祭では、難産だった妊婦が安産になった故事にちなんで「御田植安産神事」が執り行われます。この御神事を拝むと、安産で子宝も授かると伝えられています。



出雲の酒に願う

27 さ か じんじゃ
佐香神社

松尾神社とも呼ばれ、酒の神「松尾」様の名をいただく神社は、全国で京都とこちらの2社のみ。主祭神は、酒造りと、薬の神でもある久斯乃神(くすのかみ)。日本酒発祥にも関する神社は、国税庁から、一石の「どぶろく」醸造を特別に許可されており、酒造関係者が集う例祭で振舞われます。全国八百万の神々をもたずとされる「出雲」の酒。適量であれば、「酒は、百薬の長」とも、美白効果も言われていますが、一番は、集う皆を「笑顔」にする効果では。



日本全国に幸せを

28 ま ん く せん じん じゃ
万九千神社

柳御氣双命(くしみけのみこと)、大穴牟遲命(おおなむちのみこと)、少彦名命(すくなひこのみこと)の三柱と八百万神がご祭神。立虫神社(たちむしじんじゃ)の境内社です。神在月には、全国八百万の神々が、出雲大社から、最後にここに立寄って神議を締めくくり、別れの宴である直会(なおらい)を催した後、再会を期して全国へお立ちになります。きっと出雲でのお話をもとに日本全国に幸せを届けられることでしょう。



番外編

思いを届ける「ご縁」スポット

ご縁ポスト



出雲大社から東に向かう「社家(しゃけ)通り」は清閑なたずまいを今に残しており、自然と心が落ち着いてきます。「想い」を胸にぎゅっと詰めて歩いてみると、真名井の清水の斜め前に様々なご縁がつながることを願う「ご縁ポスト」に出会えます。

普段言えない想いを綴り「ご縁ポスト」から、大切な人、家族・友達へ届けてみませんか?



大好き☆出雲!

お願いのどころ
マップ

~山ほどのお陰を、出雲の地から~

出雲大社では「平成の大遷宮」が行われ、甍った社殿に多くの参拝の方々をお迎えしています。

旧暦十月の「神在月」に、全国から八百万(やおよろず)の神々をお迎えする出雲。この時、あらゆるご縁について神議(かむはかり)が行われ、全国へご縁が届けられます。

ぜひとも、出雲でお参りの際には、ご自分のお願いのほかに日本中の方々の「幸せ」も願っていただきたいと思ひます。

何と言っても、山陰の出雲は、「山」ほどたくさんのお「陰」がある、

もくもくと「雲出」ずるところ。
出雲大社への参拝も、「し・あ・わ・せ」と4回拍手するのですから。

こんなお願いが
叶うかも!?

- … みんなよくご存知のお願いどころ
- … 夕日に願いを込めるなら
- … 平穏をもたらす!
- … 縁結び・夫婦円満
- … スポーツ上達
- … 「富」を引き寄せるには!
- … 心の鬼も退治
- … 歌舞音曲などの上達
- … 地域防災の思いに触れる!
- … 美しくなれる!
- … 腰痛が治る?
- … 今年こそ料理上達
- … 日の出に願いを込めるなら
- … 安産祈願
- … 出雲の酒に願う
- … 日本全国に幸せを

詳細はこちら!

日本遺産

日が沈む聖地 出雲

~神が創り出した地の夕日を巡る~

島根半島西端の海岸線は、出雲神話の舞台となった「稲佐(いなさ)の浜」と「日御碕(ひのみさぎ)」の名で親しまれる夕日の絶景地。この場所には全国的に名の知れた「出雲大社」と「日御碕神社」が鎮座していますが、それぞれが「天日隅宮(あめのひすみのみや)」と「日沉宮(ひしづみのみや)」という名を持つ、夕日に縁の深いお社であることはあまり知られていません。

古代、大和の北西にある出雲は「日が沈む聖地」として認識され、特に出雲の人々は、夕日を神聖視し、畏敬の念を抱いていたと考えられます。海に沈むこの地の美しい夕日は、日が沈む聖地出雲の祈りの歴史を語り継いでいます。



■お問い合わせは

大好き☆出雲! 倶楽部(出雲ブランド化推進市民委員会)事務局
〒693-8530 島根県出雲市今市町70 TEL0853-21-6771
出雲市 縁結び定住課 FAX0853-21-6599

大好き☆出雲! ホームページ 大好き出雲 検索 http://www.daisuki-izumo.jp/



おすすめ！ 出雲の お願いどころ

神々が集まる出雲には
お願いどころがたくさん！
あなたのお願い事は
どんなこと？



- 【凡例】
- 国道
 - 主要道路
 - 自動車道
 - J R
 - 一畑電車

お願い *紹介させていただいた「お願いどころ」は、出雲市内のほんの一部で掲載内容も十分なものではありません。まだまだたくさんある「おすすめ情報」につきましては、「大好き☆出雲」ホームページで情報の収集・発信に努めてまいりますので、何卒ご容赦くださいませ。
*「お願いどころ」によっては、進入の道幅が狭かったり駐車スペースが限られているところもありますので、交通マナーを守って、良識ある行動をお願いいたします。

みんなよくご存知のお願いどころ

01 いずも おおやしる 出雲大社

ご祭神は「因幡(いなば)の白兔」の主人公「だいこく様」の愛称で知られる「大国主大神(おおくにぬしのおおかみ)」。旧暦10月の神在月に全国から八百万(やおよろず)の神々をお迎えし、様々なご縁組みなどの会議が執り行われるそうです。どうぞしっかりとたくさん、幸せのご縁がありますように…。



02 ひのみさき じんじや 日御碕神社

天照大御神(あまてらすおおみかみ)と素戔嗚尊(すさのおのみこと)の二大神がご祭神。近くには、ウミネコの繁殖地として知られる島全体が神域の経島(ふみしま)があり、日本海に沈む夕日のビューポイント。海底遺跡があるという逸話も。立っただけで願いごとが叶いそう！



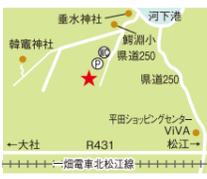
03 すさ じんじや 須佐神社

ヤマタノオロチを退治した出雲神話のヒーロー、須佐之男命(すさのおのみこと)がご祭神。須佐川のせせらぎとご本殿の間にそびえ立つ大杉さんを眺めていると、願いごとがスーッと天にも届くような気持ちになります。すぐ近くに温泉もあり、身も心もリフレッシュ。



04 がくえん じ 鰐淵寺

天台宗の古刹、鰐淵寺は、あの武蔵坊弁慶が若き日に修行したところと言われています。見事な自然が残る境内、根本堂にいたる石段や滝の真ん中にそびえる蔵王堂。すっぱりと時空を超える景観に包まれ、思わず願いごとさえ忘れそうな、折りの地でもあります。



05 からかま じんじや 韓竈神社

ご祭神の素戔嗚命(すさのおのみこと)が、岩船に乗って、新羅(しらぎ)から「鉄器文化」や「植林法」を伝えたという神話が残る地。鳥居の随分手前から、未舗装の道を通り、険しい参道を登り、さらに隙間約4.5cmの大岩の間を抜けた先に本殿があります。これだけの思いをしてお参りするのだから、きっと願いは叶はず。思いがノートに記されています。



06 いちばた やくし 一畑薬師

目のお薬師さんとして知られる一畑薬師。二歳児詣りなど、子どもたちの無事成長のお願いどころとしても有名。体力に自信のある方は、ふもとの山門入り口の石段から、お参りされることをお勧めします。薬師本堂から見下ろす穴道湖と北山の見事な景色にじっと目を凝らすだけで目がよくなりそう。



夕日に願いを込めるなら

07 いな さ はま 稲佐の浜

神話「国譲り」の舞台として有名なこの浜は、神在月(旧暦10月)の神迎事(かみかえしんじ)の地。冬にはとても荒々しい姿を見せる日本海に向かって、美しい夕日の太陽エネルギーとミネラルいっぱいの潮風エネルギーを浴び、どんどん元気が湧いてくる…パワースポットともいわれています。



08 つきよみしや 月読社

日御碕を見下ろす推恵山の頂上に鎮座する月読社。日本書紀によると、ご祭神である月読命(つくよみのみこと)は思い込みから食の神うけもちのかみを殺めてしまい、姉神あまてらすの不興を買い、夜のみを司る役目を担うことになったと伝えられています。夏至の日、出雲大社から見ると夕日がちょうど日御碕神社の真上に沈みゆき、月読社は、その線上に鎮座しています。



平穏をもたらす！

09 いなせ はぎ じんじや 伊奈西波岐神社

出雲国造の祖神、天穂日命(あめのほひのみこと)の子、稲背彦命(いなせはぎのみこと)がご祭神。稲佐の浜での「国譲り」に際し、大国主大神の命を受け、御子神の事代主神(ことしろぬしのかみ)の意見を聞きに美保関まで奔走された神です。「通信」の始まりと言われるこの使いにより、国譲りは平和に解決しました。天然痘の守護神としても広く崇拝されてきた命は、穏やかで素敵な港町「鷺浦」に祭られています。



縁結び・夫婦円満

10 う み じんじや 宇美神社

宇美神社本殿に祀られている事解男命(ことさかのおのみこと)は、「コトサカ=関係を裂く」を表し、絶縁と浄化を象徴する神様です。男女関係、病気、悪癖、悪いしがらみなどを切り、浄化に導くといわれています。お詣りの仕方は、拝殿にて縁切り祈願をし、本殿裏を時計回りに回り、境内にある「縁結神社」で新たな良縁を授かると良いとされています。



えんむすび じんじや 縁結神社(宇美神社内)

ご祭神は、伊弉諾尊(いざなぎのみこと)と伊弉册尊(いざなみのみこと)。木綿街道沿いの宇美神社(うみじんじや)の境内に合祀された神社で、「縁結」の名がつく神社は「出雲」でもここだけのこと。良質の「平田木綿」を集め栄えた地で、あなたの願いを訪いだ糸が、しっかりご縁に結ばれますように。ハート型の絵馬に託してみては。

11 なめ さ じんじや 那美佐神社

主祭神は大国主大神の別名、葦原醜男命(あしはらのしこのおのみこと)と須佐之男命の御子、須勢理姫命(すせりひめのみこと)。出雲国風土記によると、ご祭神ご夫婦が仲睦まじく岩坪の宮殿でお暮しになっていたある日、宮前の溪流が岩苔の上をなめらかに流れているのをご覧になり、「滑(なめ)し盤石(いわ)なるかも」と仰せられたことから、「なめさいわ」が「なめさ」となり、この地を滑狭郷(なめさのさと)というようになったといわれています。また、近くにある「岩坪」は、須勢理姫命の誕生時にこの水を産湯として使ったとの伝承があります。伴侶とのご縁を求めらる方や夫婦の絆を深めたい方におすすめ。



12 はなくら じ 華蔵寺・金勢堂など

8世紀頃に行基(ぎょうき)が開祖したと伝えられる天台宗の古刹。境内を歩くと、縁結び・夫婦円満にご利益があると伝えられる金勢堂(こんせいどう)や、さらに小道を進むと池の中の小島に弁天堂(べんてんどう)が現れます。ご夫婦、カップルでの境内散策は、いつの間にか肩寄り添って…。



スポーツ上達

13 なが はま じんじや 長浜神社

出雲国風土記の冒頭を飾る「国引き神話」の主人公、八束水臣津野命(やつかみずおみつぬのみこと)がご祭神。海の向こうの土地に綱をかけて引き寄せ、出雲の国づくりをされた…ということで、綱引きの祖とも言われています。スポーツ上達のお願いは、綱引きの発祥の地でお願ひするのが一番。



「富」を引き寄せるには！

14 とび じんじや 富神社

八束水臣津野命を祭る、その名も「富」神社。神社がある斐川町富村(とびむら)は、「十二郷七浦」と呼ばれ、出雲大社鎮とされた地域。神名火山(かんなびやま)から眺めて「国引き」を思い立ち、その大仕事により「富」をもたらした命が、鎮座の地にお運びになった「富」の地。「富」は自らの力で引き寄せるもの？



心の息も退治

15 たべ じんじや 多倍神社

須佐之男命がご祭神。オロチではなく、鬼退治伝承のあるお宮です。社殿は、退治した鬼の首を埋めて大岩(首首)で蓋をした上に建てたと伝えられています。近くの目田森林公園には「鬼のこしかけ岩」と呼ばれる巨岩もあります。心の鬼に負けそうになったら…ぜひお出かけください。出雲の鬼退治フィールドへ。



歌舞音曲などの上達

16 ほうのうざん おくにとう 奉納山・於國塔、いずも おくに ほか 出雲阿国の墓

歌舞伎の始祖「出雲阿国」は、出雲大社の巫女であったといわれ、晩年はこの地で暮らし生涯を終えたと伝えられています。昭和11年、大社湾が一望できる奉納山の中腹に、阿国を顕彰する石塔が建てられ、それを囲む石柵に歌舞伎役者や当代一流の芸能人の名前が刻まれました。以来、知る人ぞ知る、芸能など上達のお願いどころとなっています。



地域防災の思いに触れる！

17 あ たご さん しょうほう じんじや 愛宕山の消防神社

火災鎮護の神「愛宕権現(あたごこんげん)」(秋葉権現)を祭った、その名も「消防神社」。平田城址に整備された「愛宕山公園」内にあり、毛利・尼子の激しい戦を経て建てられた防火守護神の堂宇を、旧平田町消防組が、町などの協力を得て再建したもの(昭和11年7月6日遷座祭)。毎年消防団が祭主となって、市内の無火事と市民の安全を祈願します。平田の街が一望できる地に、強い思いで再建された、そんな神社もあるのです。



美しくなれる！

18 いわね じ 岩根寺

昔、ある夫婦が岩根寺へ祈願して玉のような女の子を授かりました。歳月は流れ、時の帝(光仁天皇770~780年)は、夢で「出雲の国に美しく賢い娘がいる。この絵と靴を持って行って、引き合わせてみよ」とのお告げを受け、出雲への使者をたてました。そこで、田植えをしている親孝行の娘が、絵とそっくりで美しく、靴もちょうど足に合ったので、召されて天皇の后(吉祥姫)となりました。出雲版シンデレラ物語！



19 ゆ かわ おんせん やかみひめ じんじや 湯の川温泉、八上姫神社

大国主大神と恋に落ちた因幡の国の八上姫(やかみひめ)は、出雲の国に帰られた命を慕って、はるばる旅に出られました。途中、岩の間からこんこんと湧き出る湯の川を見つけ、旅の疲れを温泉でいやされ、心身共にお元気に、いっそう美しい神になられたそうです。今だったら、まずは道の駅「湯の川」で足湯を楽しんでから…ってところでしょうか。

